

井堤里玉川の流を以て水車をめぐらし、昼夜碓を踏せて米を精白にし、舂をまはせて菜種を挽わり、あるはもろもろの粉を振はせける。其車の工み他に異なり。是皆水の勢ひにして、山海経にいふ水伯神のちからなるべし。